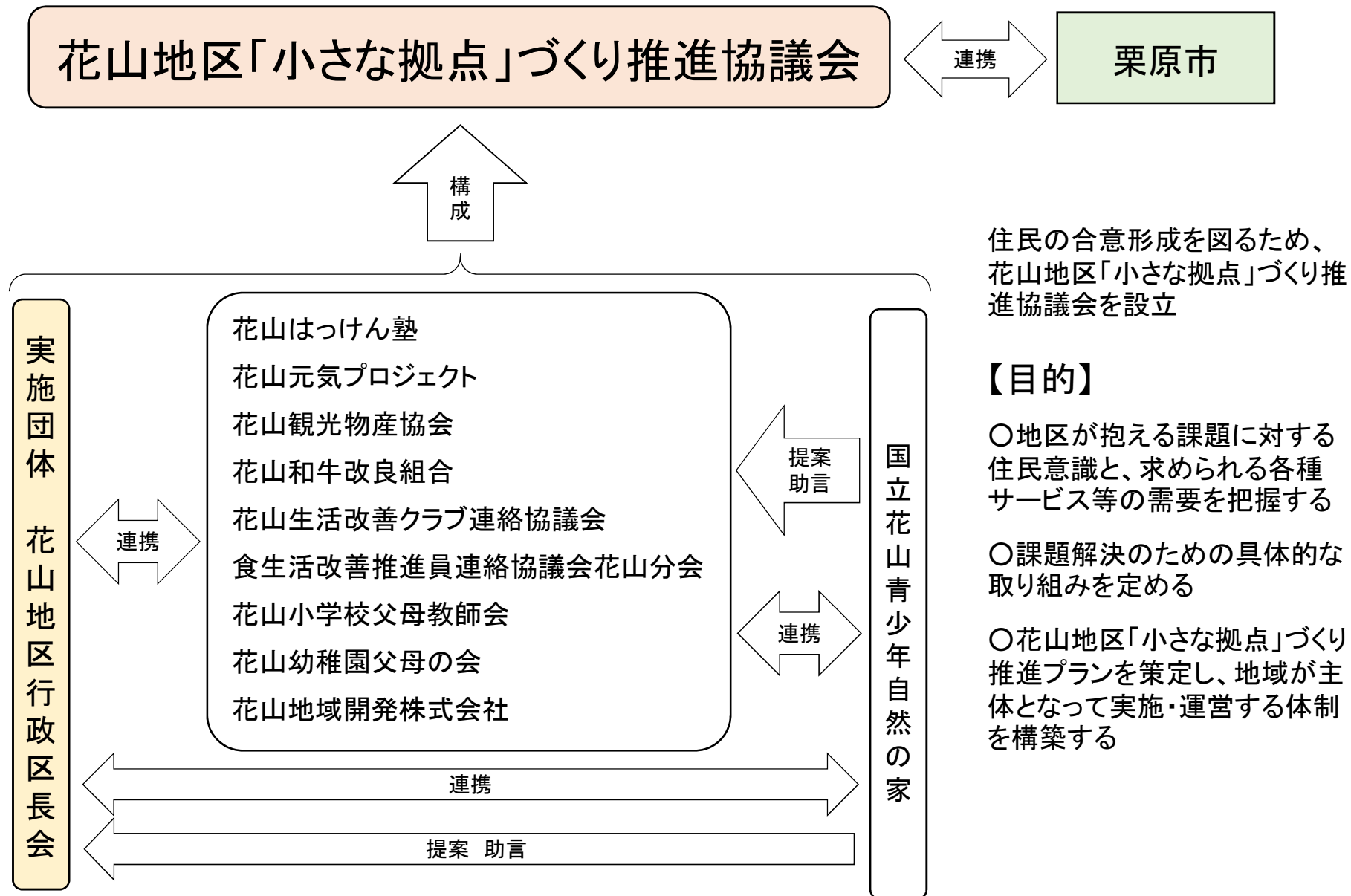


花山地区「小さな拠点」づくり推進協議会設立



「小さな拠点」づくりモニター調査のテーマ

「道の駅」の機能強化による「小さな拠点」の形成と季節居住の可能性の検討

地域の課題	調査の目的	調査の目標
<ul style="list-style-type: none">●地区の中心部には、市役所支所や診療所、郵便局、道の駅等の公共的施設が集積しているが、沢沿いに発達した各集落から中心部までの除雪や交通アクセスに苦慮している。●集落間の交通手段として市民バスが運行中だが、3つの集落では週1便のみで利便性が低い。●地区の中心部には、食料品を含む日常生活用品を扱う店舗とガソリンスタンドがあるが、後継者不足の問題を抱える。●地場産品等の活用等を通じた地元雇用や賑わいの場の創出。●豪雪地帯のため高齢者にとって自宅から道路までの除雪と冬季の交通が重い負担。	<ul style="list-style-type: none">●旧花山村全域を調査対象とし、地区中心部にある道の駅「路田里はなやま」を活用して日用品等の買い物や地元雇用も含めた賑わいの拠点づくりを目指すとともに、高齢者の中心地区における冬期居住の可能性を探る。●行政の支援のもと、栗原市合併時に設立した「花山地区行政区長会」が核となり、地域の関係団体に呼びかけ、新たに「花山地区「小さな拠点」づくり推進協議会」を立ち上げ、検討を行う。	<ul style="list-style-type: none">●地域内で活動する様々な活性化団体で協議会を構成し、「小さな拠点」づくりに向け協働しながら主体的に取り組む体制の構築を図る。●観光客向けの機能中心の「道の駅」を地域住民にとっての生活拠点とすべく機能併設強化を図るとともに、地場産品の開発や販売を通じて雇用開発を図り、賑わいを創出する「小さな拠点」づくりを目指す。●高齢者世帯の冬季の除雪等の重い負担と不安や買い物の不便を解消するための策として、「小さな拠点」周辺での季節居住用の共同居住施設の整備に向けた住民ニーズ等について調査検討する。

「小さな拠点」づくりモニター調査実施計画

調査項目	調査内容	時期
関係団体等への参加要請	「小さな拠点」づくりに対する協力と推進協議会への参加を地区内の関係団体に要請し、地域が一体となって取り組む体制を構築	9～10月
先進地現地調査	「小さな拠点」づくりに資するため、先進地(秋田県由利本荘市)で現地調査を実施	11月
地域住民講演会	「小さな拠点」づくりに向けて、地域住民を対象に講演会を開催(講師 弘前大学准教授 平井太郎氏)	11月
住民アンケート	生活サービスの現状や地域活動の実施状況及び住民ニーズを把握するために、住民アンケートを実施	12月
「小さな拠点」づくり推進プラン作成	地区の課題を解決するためにどのような拠点づくりを進めるのかを具体的に定めた計画を作成	1月～2月
地域住民報告会	今後の取組に理解と協力を得るため、上記検討結果を地域住民に報告	2～3月

「小さな拠点」づくり候補地



「小さな拠点」づくり候補地
座主集落

「小さな拠点」づくりを検討する場所と構想



花山地区中心地、座主集落には、直径500mの範囲に主要な公共的施設、店舗などが集積

【公共的施設】

市役所支所、コミュニティセンター、診療所、郵便局、駐在所、幼稚園、道の駅、農山村交流センター、JA支店、商工会館

【民間サービス】

食料品店、ガソリンスタンド

※後継者がなく、閉店した場合、燃料や食料が購入ができない事態に



○公共的施設や店舗が集積する中心地を「小さな拠点」として活用し、観光客向けの「道の駅」を地域住民にとっての生活拠点とすべく機能強化を図る

○地域内を利便性の高いコミュニティバス、デマンドバスでつなぐ

○冬季に「小さな拠点」で生活できる共同居住施設を整備することで、独居や日常生活に支障のある高齢者の安心な生活を提供

→ 住民同士の見守り・目配りによる孤独死防止を期待

「小さな拠点」づくりの当初構想



「道の駅」の機能強化。食料品や日常生活用品も販売



冬季の共同居住施設を整備し、独居や日常生活に支障のある高齢者に安心を



地域内を利便性の高いコミュニティバスやデマンドバスでつなぐ



花山地区「小さな拠点」づくり推進協議会の活動記録



▲ 同推進協議会総会



▲ 先進地視察(秋田県由利本荘市)



▲ 住民講演会 講師 平井太郎氏(弘前大学准教授)

日常生活に関するアンケート調査結果 例1

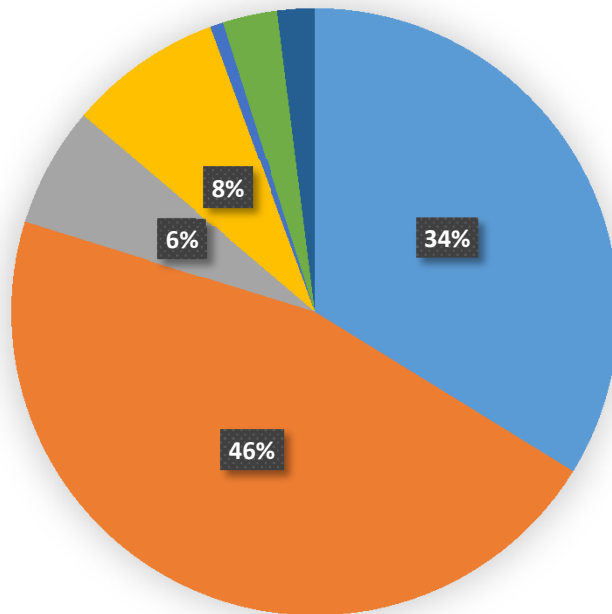
対象者**1,085**人、回答者**905**人、回答率**83.4%**

○全26の質問で住民の意向や要望を的確に吸い上げる

○調査からわかったこと。地区内でも地域や世代によって考え方が大きく異なる

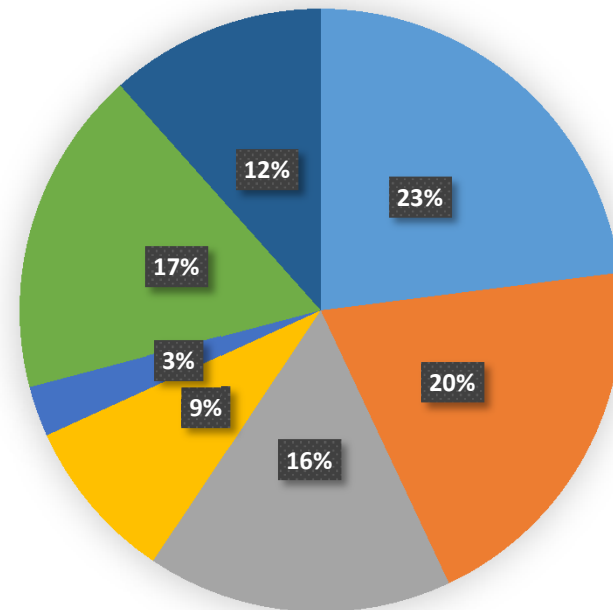
調査結果
例

人口減少について



- かなり不安である
- 不安である
- なんともしらない
- あまり不安はない
- 全く不安はない
- その他
- 不明・無回答

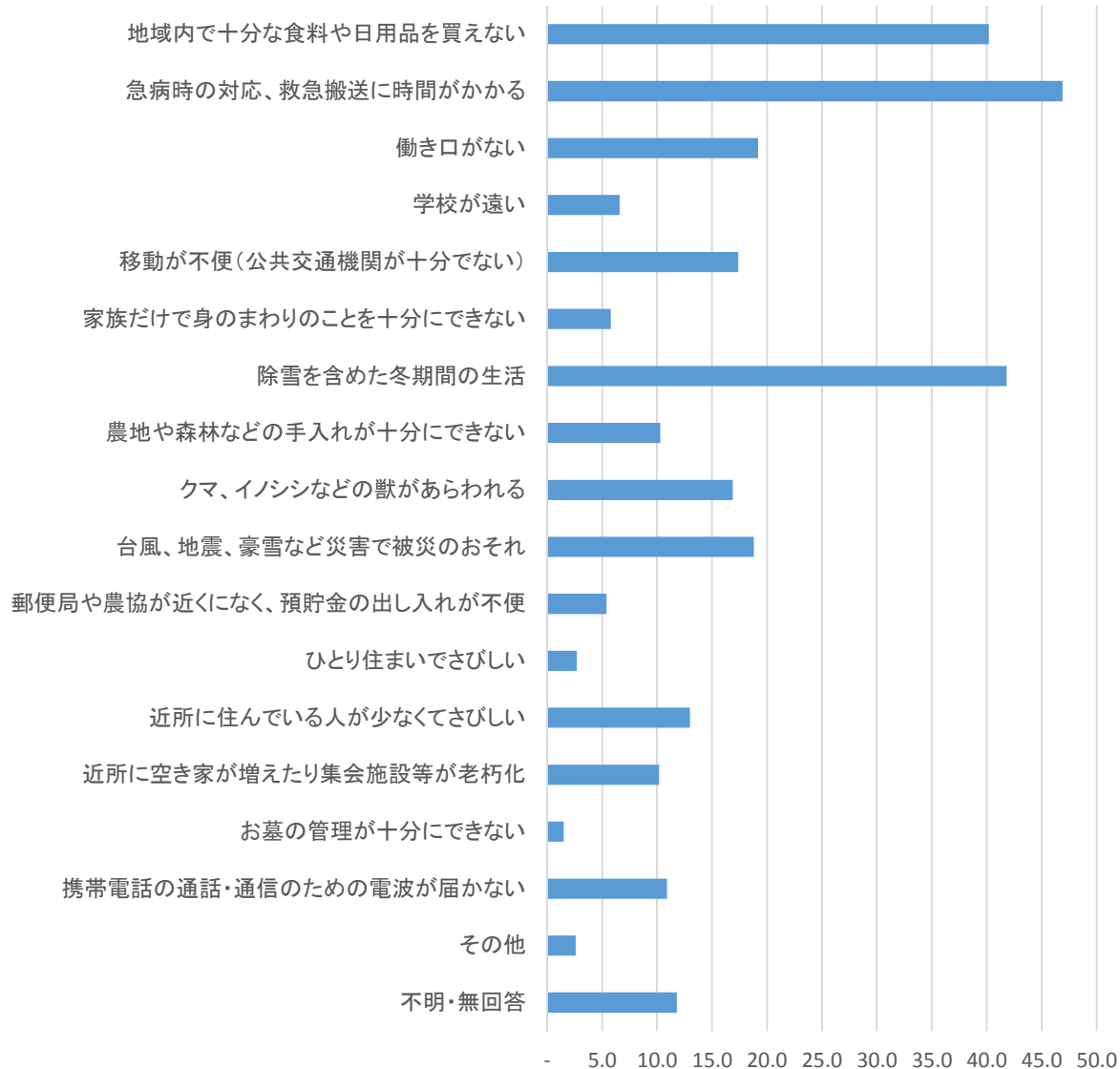
現在の住まいに住み続けたいかどうか



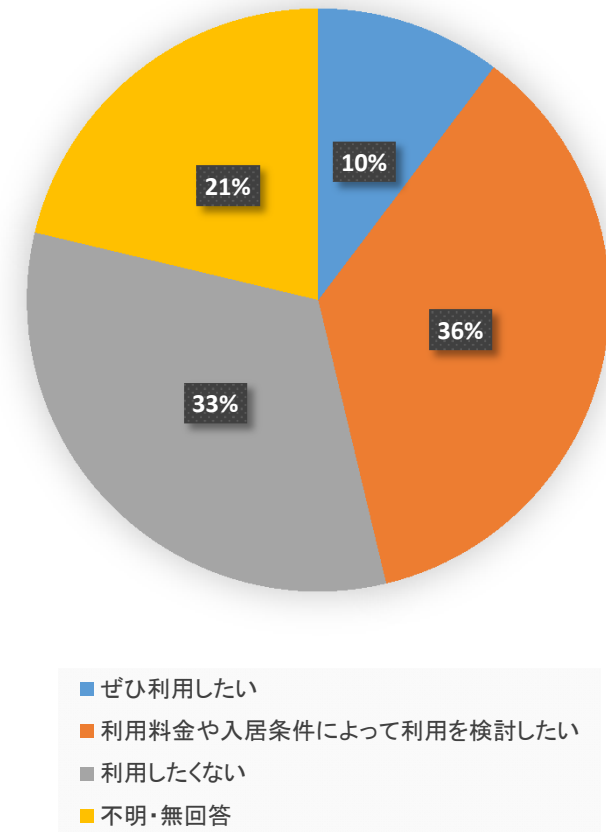
- ぜひ将来も住み続けたい
- できれば将来も住み続けたい
- 将来も住み続けざるを得ない
- できれば将来は別の地域に移りたい
- 将来は他の地域に移るつもり(予定)
- 今はどちらともいえない、まだわからない
- 不明・無回答

日常生活に関するアンケート調査結果 例2

日常生活での困り事・不安



冬期間だけ居住できる施設 利用意向<65歳以上>



「小さな拠点」づくり実現に向けて

現在、アンケート調査結果を分析しながら、「小さな拠点」づくりモデルプラン作成に向けて役員会と協議会で検討中

「小さな拠点」づくりと同時に目指すもの

- 震災で損なわれた観光をはじめとする**地域産業の立て直し**
- 強い地域を作るため多世代の交流による**コミュニティの再興**
- 地区に安心して暮らすための**新たな雇用の場の創出**

例. 協議会役員が計画している太陽光発電と新規希望就農者(プラントスタッフ)の雇用
市内企業や大学から「小さな拠点」づくりにかかわる地域振興につながる提案あり

- 都市部からの**若者定住促進**

例. 「国立花山青少年自然の家」に合宿にきた子どもたちを民泊につなげ、交流人口を増やす構想



▲自然薯(特産品)



▲国立花山青少年自然の家



▲花山雪っこまつり

栗原市花山へございん



魅力あふれる栗原市へおいでください
(東京から新幹線で最短1時間58分)